

2012年 節電2年目の夏

家庭や職場でできる 節電対策

昨年の夏は、3月に発生した「東日本大震災」に伴う、福島第一原子力発電所の事故の影響で、節電の夏でした。

今年は、昨年のこの事故を受け、全国のほとんどの原子力発電所が安全審査のために停止している影響で、2年目の節電の夏を迎えようとしています。

東京電力(株)管内では、新規電源の設置などに努めた結果、電気の安定供給が確保される見通しですが、予期せぬ電源のトラブルなどによる、供給力不足に陥る可能性がないとは言えません。

電力は貯めておくことができないため、供給能力以上の電気を使うことはできません。もし、電力需要が供給能力を大きく超えてしまうと、予期せぬ停電が起こってしまう恐れがあります。

こうした中、市民生活や生産活動への影響をできるだけ少なくするためには、全国規模で節電に取り組むことが、必要不可欠となっています。

一方で、節電は地球にもやさしい行為ですが、過剰な節電は、命に関わることもあります。無理のない範囲で節電に心がけるようにしましょう。

もうすぐ、節電2年目の夏がやってきます。

この夏の準備として、家庭や職場で一人ひとりが、電気の使い方や夏を涼しく過ごす工夫に取り組んでみませんか。

昨年の夏、市役所では使用電力量：前年同月対比20%以上減を目標に掲げ、庁舎照明の消灯・減灯、空調機の稼働時間の短縮、さらに緑のカーテン(写真左)の導入など、積極的に節電に取り組みました。市民の皆様からご協力をいただきました結果、目標を上回る節電効果を上げることができました。
今年の夏も市役所では、前々年同月対比30%減を目標に節電に取り組んでおります。